

岐阜県教育委員会さま

教育データを活用し「誰一人取り残すことのない学び」を支援する
学習支援ツール interactive Study を導入



【令和5年1月より岐阜県庁は新庁舎になりました】



■導入商品

個別最適化学習支援システム
interactive Study (インタラクティブスタディ)



■導入先

岐阜県教育委員会さま

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/>



岐阜県

●導入場所：岐阜県内

全市町村立小学校354校(2023年4月時点)

岐阜県教育委員会様では、平成29年4月から5年間、インタラクティブスタディをカスタマイズした教科学習ウェブシステム「GIFU Webラーニング」をご活用いただいておりますが、令和4年4月より、教育データの利活用ができるよう新しい機能を加え「NEW! GIFUウェブラーニング」としてご利用いただいております。

こんなソリューションを実現しました

導入前の課題

GIGAスクール構想により、1人1台のタブレット端末環境が岐阜県内の市町村にも整備されました。今まで以上に児童が、学校や家庭などあらゆる場所から学習がおこなえる環境を構築する必要があり、また、教育データの利活用を進めることで、より効果的な学びを児童に提供したいと考えていました。

小学校算数の授業で毎時間末に使える練習問題があるので、授業の最後に「今日習った内容が理解できたか」確認できるようになりました。

先生は、授業中に児童の理解状況を見て個別指導を行ったり、授業後に問題の正答率やつまずきの傾向を見たりして、次の授業に生かすことができました。

児童は、自分自身の学習状況を確認して「次に自分は何を学習すればよいか」を考えて、個別に学習を進めることができるようになりました。

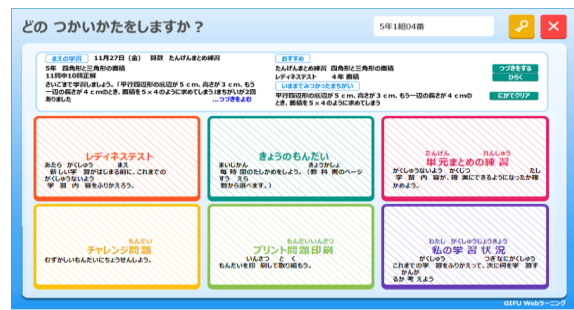
■導入のきっかけ

全ての児童にやさしい学校教育の一環として
「誰一人取り残すことのない学び」
ひとり一人に寄り添った学習がおこなえる

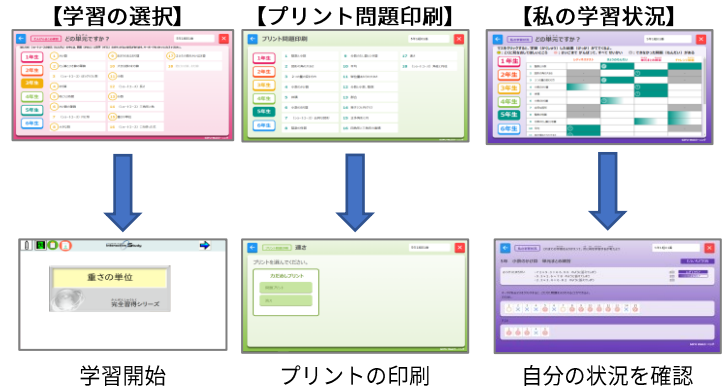
平成29年より5年間利用した「GIFU Webラーニング」を
リニューアルする必要がありました。それはこの5年間で、
ICTに関する環境が大きく変わり、パソコン教室での利用から
普通教室での利用が主流になったからです。それにとも
なって1人1台端末をより効果的に活用できるシステムが必要
となりました。

「NEW! GIFUウェブラーニング」では、子どもたちの学習
した履歴が教育データとしてサーバーに蓄積され、その
データを利活用できる機能が揃っています。先生がその教育
データから気付いたことを授業に反映、また個別指導へ
とつながり、より子どもたちの学びも充実していくという
好循環が生まれています。

これにより「個別最適な学び」つまり「誰一人取り残すこ
とのない学び」の実現を目指しています。



学習したいメニュー機能をクリックすると
単元一覧が表示されます。

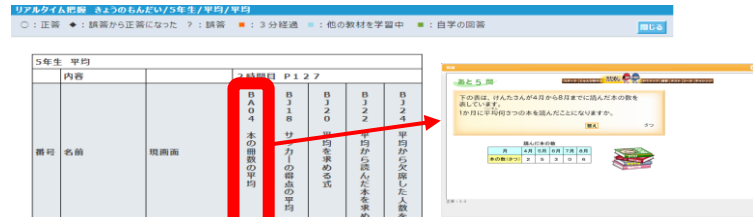


【画像データはサンプルです】

導入後の感想

先生はデータを活用した指導改善ができ、児童は自ら苦手なところを見つけ取り組むようになった

先生は、授業中「リアルタイム把握」画面から一人一人の
進捗を確認しながら個別支援をしたり、誤答が多い問題を
確認したりするなど、データを活用した指導改善ができる
ようになりました。授業後には、「単元別分析シート」で
県平均と比較をして、正答率の低い問題を調べたり、児童
がどのような間違いをしているか把握・分析をしたりして
ました。それを参考に単元導入時の復習に活用したり、個
人追究に入る前にあえて誤答を示したりして、考えの見通
しをもたせることで、つまりくことがないような指導改善
ができるようになりました。また、児童自身で「わたしの
学習状況」から苦手なところや、やっていない部分を見つ
けて自ら取り組むようになりました。

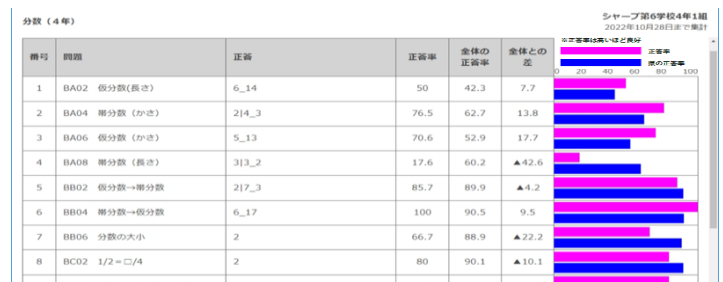


「リアルタイム把握」画面例
誤答が多い問題や、個別指導が必要な児童がないか確認
します。

今後の展開

教育データを活かした最適な学びや指導改善の実現

「NEW! GIFUウェブラーニング」によって得られる教育
データの効果的な利活用について県内の推進校（6校）と研
究開発を進め、子どもの資質・能力を最大限に引き出すた
めに、個々の最適な学びを可能にしたり、教員の指導改善
につなげたりすることを目指していきます。また、推進校
による好事例を県内全域に伝え、「NEW! GIFUウェブラ
ーニング」の効果的な活用事例を増やしていきたいと考
えています。



「単元別分析シート」画面例
クラス平均と県平均の差が判ります。